PIANO MUSICAL INSTRUMENT

PURCHASE BUSINESS MODEL

ピアノ・楽器買取セミナー

サックス・トランペット編

アプレ楽器

PIANO
MUSICAL
INSTRUMENT

買取セミナー

サックス・トランペット編

目次

table of contents

第１章：管楽器（サックス）の買取注意点

第２章：管楽器（サックス）の種類

第３章：アルトサックスとテナーサックスの判別

第４章：サックスのメーカー・モデルの判別

第５章：サックスの付属品・マウスピースについて

第６章：遠隔サポート撮影のポイント

第７章：管楽器（トランペット）の買取注意点

第８章：管楽器（トランペット）の種類

第９章：トランペットのメーカー・モデルの判別

第10章：トランペットの付属品・マウスピースについて

第11章：遠隔サポート撮影のポイント

第12章：楽器買取システムの使い方

第１章　管楽器（サックス）の買取注意点

サックス

管楽器の種類は非常に多く、マイナーな管楽器も細分化されています。
その一方で、査定時の共通点も多いので、今回は「サックス」に焦点を合わせてご説明いたします。

各管楽器との共通意識としては、「傷・凹み・塗装剥がれ・変形・錆などの確認」が必要となります。

特に、「凹みや変形」は楽器としての価値に支障が出てしまいますので要注意です。

楽器は使用していると自然に傷んできます。
まずは細かな傷がつき、塗装が剥がれてきた後に錆ついてしまうパターンが多く、塗装が剥がれてきている段階で査定額に大きく影響が生まれます。

細かな引っ掻き傷については、査定額への影響は少ないですが、パーツの破損は査定上注意すべき点になります。

左の画像は、バネ部分の破損です。
他にも、タンポ破け・コルク落ち等様々なパターンが存在します。

第１章　管楽器（サックス）の買取注意点

サックス

湾曲や変形は、主に使用中の落下などが原因となりますが、管体が湾曲してしまうと査定額に大きく影響します。

よく見られるのが、ベル部分の湾曲ですが、ベル部分は修復可能な場合があります。
ただし、管体の細い箇所など修復費用の方が高くなる可能性があるので注意が必要です。

大きく凹むパターンや、えくぼ程の小さな凹みまで様々ですが、管体に対しての凹み具合が重要となりますので、小さな凹みでも査定に大きく影響する場合があります。

第２章　管楽器（サックス）の種類

サックス

メジャーな種類で大きく分けて、4 種類のサックスが存在します。
主に大きさで分類されますので、形状で判断が可能です。

ソプラノサックス

例 ：YAMAHA YSS-875EX
サックスの中でも一番管体が細く短く作られています。一般的なものは真っ直ぐなのが特徴的です。

アルトサックス

例 ：YAMAHA YAS-62
最もポピュラーで人気があり、テナーよりやや小さいです。

テナーサックス

例： YAMAHA YTS-480
アルトサックスに次いで人気があり、ネックの曲線が特徴的です。

バリトンサックス

例 ：YAMAHA YBS-62II
一際大きく太く作られており、ネック付近の管体が複雑な曲線になっています。

第３章　アルトサックスとテナーサックスの判別

サックス

サックスの中でも最も多いのが、アルトサックスとテナーサックスですが、この２種類は形状の相違が少なく、大きさのみでの判断が難しい場合があります。
しかし、簡単な見極め方法があります。
それは「ネックの形状」です。
比較的真っ直ぐ伸びてるアルトサックスに比べて、一度下にうねるような曲線になっているのがテナーサックスです。
正面からでは判断が難しいので、横から撮影した次の画像でご確認ください。

第４章　サックスのメーカー・モデルの判別

サックス

サックスのメーカーモデル名の判別は管体に刻印されている場合が多く、刻印箇所も基本的に２パターンしかありません

1 ベル付近にメーカー・モデル（シリーズ名）が刻印されている場合

2 U 字管（本体下部）の裏付近にメーカー・モデル・シリアルが刻印されている場合

第５章　サックスの付属品・マウスピースについて

サックス

サックスを演奏する上で必要不可欠なのが「マウスピース」です。このマウスピースによって音色や吹奏感が変わってきますので、非常に重要な役割を果たしています。人によって好みも様々でただの付属品ではなく、商品としても販売されており中古でも需要があります。高いもので中古相場数万円以上のものがありますので、見落とし厳禁です。

大まかにマウスピースと言っても、それだけでは機能しないので、「リード」「リガチャー」も不可欠となります。しかし、これらが査定に大きく影響することはありません。

第６章　遠隔サポート撮影のポイント

サックス

※側面から形状が分かるように撮影してください。

※全体・刻印アップの鮮明な写真があるとより正確な査定が可能です。

※キズや割れ、汚れなどがある場合は別途必ず撮影してください。

※シリアル番号やブランド名など刻印位置は楽器によって異なります。

※刻印がわかるように撮影してください。

モデル名やシリアルナンバーの記載がない場合

サックスには、メーカー名の記載のみでモデル名の記載がないことが多々あります。
その際は形状・仕様などから特定する必要があります。

※ケースや保証書、認定書などの付属品がある場合は撮影してください。

第７章　管楽器（トランペット）の買取注意点

トランペット

サックスに続いて奏者も多く、ポピュラーであるのが「トランペット」です。

サックスと同じく、「傷・凹み・塗装剝がれ・変形・錆などの確認」が必要となります。

特に、「凹みや変形」は楽器としての価値に支障が出てしまいますので要注意です。

また、多くの場合、ピストンが固着して動かなくなってしまっている状態の物がありますが、ピストン部の分解清掃・調整は比較的簡単に行えるため、大きなマイナスポイントにはなりません。

第８章　管楽器（トランペット）の種類

トランペット

メジャーな種類で大きく分けて、４種類のトランペットが存在します。
主に大きさで分類されますので、形状で判断が可能です。

ロータリートランペット

例 ：YAMAHA YTR-938FFMS
一般的なトランペットはピストン式ですが、こちらはロータリー式となっているのが特徴です。

ピッコロトランペット

例 ： YAMAHA YTR-6810S
管の長さはトランペットの約半分で、ピストンが４つあります。

コルネット

例： YAMAHA YCR-8335
一般的なトランペットに比べて、管体が短いのが特徴です。

フリューゲルホルン

例 ： YAMAHA YFH-8310Z
抜き差し管がピストンと平行に縦についているのが特徴です。

第９章　トランペットのメーカー・モデルの判別

トランペット

トランペットのメーカー・モデル名もサックスと同様に管体に刻印されている場合がほとんどです。刻印箇所は基本的に３パターンです。

1 第２ピストン部に刻印されている場合

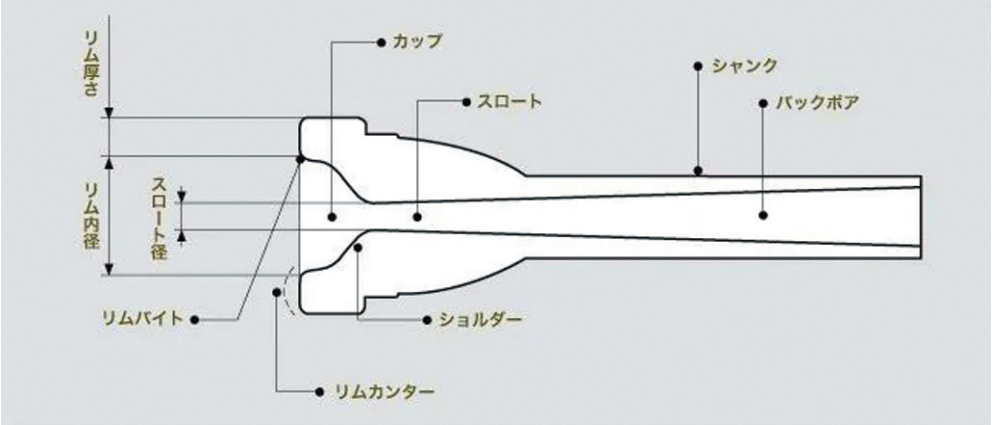
2 ベルにメーカー・モデル・シリアルが刻印されている場合

3 マウスピースレシーバー（マウスピースを差し込む場所）に刻印されている場合

第10章　トランペットの付属品・マウスピースについて

トランペット

トランペットのマウスピースは、基本的には真鍮で作られており、リムの厚さやカップの深さなどの細かい仕様から、表面が銀メッキや金メッキで仕上げられているなど豊富な種類があります。中には中古市場で１本数万以上で取引されている物もありますので、見落とし厳禁です。



第11章　遠隔サポート撮影のポイント

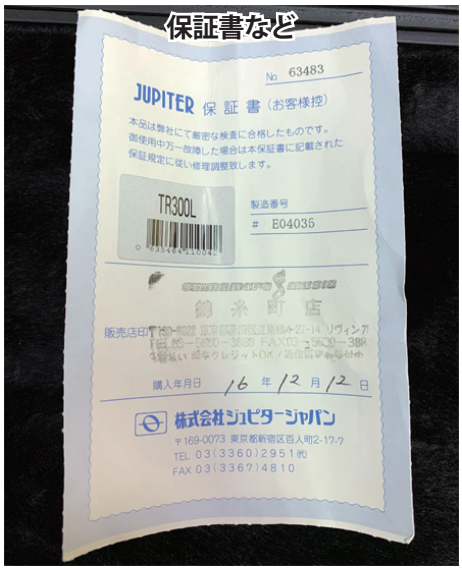
管楽器

※シリアル番号やブランド名など刻印位置は楽器によって異なります。
※全体・刻印アップの鮮明な写真があるとより正確な査定が可能です。
※キズや割れ、汚れなどがある場合は別途必ず撮影してください。
※ケースや保証書、認定書などの付属品がある場合は撮影してください。

※刻印がわかるように撮影してください。

モデル名やシリアルナンバーの記載がない場合

管楽器には、メーカー名の記載のみでモデル名の記載がないことが多々あります。
その際は形状・仕様などから特定する必要があります。



第12章　楽器買取システムの使い方

ご契約後、システムの URL とパスコードを発行いたします。
システム URL にアクセスしてログインすると上記のようなトップページが表示されます。
ギター（楽器）の場合は、①の「楽器遠隔サポート」をクリックしてください。

「楽器サポート」について

「楽器遠隔サポート」の画面が表示されます。
①のプルダウンメニューから楽器の種類を選択します。
選んだ楽器の種類に合わせて遠隔サポートで使用する写真撮影のポイント画像が切り替わります。
楽器の種類によって、撮影のポイントが異なりますので、よく確認して撮影をお願いします。

第12章　楽器買取システムの使い方

「楽器サポート」について

①には、遠隔サポートを依頼する楽器の種類、メーカー名、モデル名、シリアルナンバーなどの基本情報の他、商品を撮影する中で確認できた傷や打痕、クラック、ネック折れ、修復跡などの状態情報を、わかる範囲でかまいませんのでご入力ください。
②では、撮影のポイントをご参照の上、鮮明な画像をできるだけ多く撮影いただき、保存してください。不鮮明で刻印が読み取れなかったり、暗くて商品の状態が判断しかねたりする場合は、追加の撮影をお願いする場合があります。ご協力のほど宜しくお願いいたします。
メッセージや担当者名の入力、商品写真の撮影が完了後、「送信」をクリックしてサポート依頼終了となります。

第12章　楽器買取システムの使い方

楽器を業者販売されたい場合

ココがPoint

【商品を販売したいお客様へ】
お買取した楽器類を販売したい場合は、その旨コメント欄へ記載ください。
無料集荷へ回れる場合は日時をご連絡いたします。
集荷対応地域：東京都、神奈川県、千葉県、さいたま県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
※一部地域を除く
※お品物の内容によっては、集荷対応できない場合がございます。

集荷出来ない場合は、下記へご郵送ください
※元払いでお願いいたします
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
〒540-0027
大阪府大阪市中央区鎗屋町1-1-1　愛知ビル3F
アプレ楽器
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 メッセージ

担当者

楽器サポート本部へ送信

写真を撮る　ファイルを添付

送信

お客様から買取した楽器をピアノ・楽器システム本部に業者販売されたい場合は、①に商品の基本情報、状態情報と併せて、「本部買取希望です」等、業者販売を希望することがわかるようにご入力ください。

無料集荷へ回れる場合は日時をご連絡いたします。
集荷対応地域：
東京都、神奈川県、千葉県、さいたま県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
※一部地域を除きます。
※お品物の内容によっては、集荷対応できない場合がございます。

集荷対応地域以外の場合は、下記住所までご発送ください。
※大変恐れ入りますが発送は「元払い」でお願いいたします。
＝＝＝
〒 540-0027　大阪府大阪市中央区鎗屋町 1-1-1　愛知ビル 3F　アプレ楽器
＝＝＝

ピアノ・楽器システムの利用料金

本サービスの利用にあたり、加盟金等は一切必要ありません。買取ったピアノをピアノ・楽器システム本部にお売りいただくという条件付きですが、システム利用料金は成果報酬型となりますので基本は無料です。
買取成立後、弊社へ売却の際に買取金額 10 万円以上になった場合、当月のシステム代金として 1 万円が買取金額より相殺される仕組みです。店舗に利益が出るまでは、一切システム代金はかかりません。

また、今回ご契約いただけたお客様には、スタート研修として 2 時間程度の無料オンラインセミナーを個別にて開催させていただきます

日程等は、ご契約時に個別にご相談ください。

スタートアップキャンペーン

ご好評につき期間延長

ピアノ楽器システム

~~2021年5月31日まで~~のお申し込みで

成果報酬型 システム利用料金

完全無料

買取成立後、弊社への売却の際に買取金額が10万円以上になった場合に発生する当月のピアノ楽器システム利用料金1万円がずーっと無料となります。

ピアノ楽器システム

https://ピアノ楽器システム.com/